

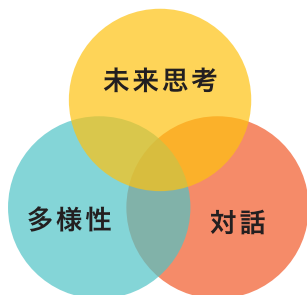


KOKULABO FUTURE CENTER

出会おう地域、つながろう社会、つくろう未来

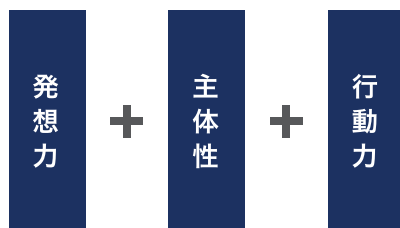
フューチャーセンターとは？

複雑化している地域社会の問題に対して、ありたい未来を共に描き、解決策や提案を行うワークショップです。発祥の地であるヨーロッパでは、行政や企業が設置しています。フューチャーセンターでは「未来思考」「多様性」「対話」の3つを大切にしています。



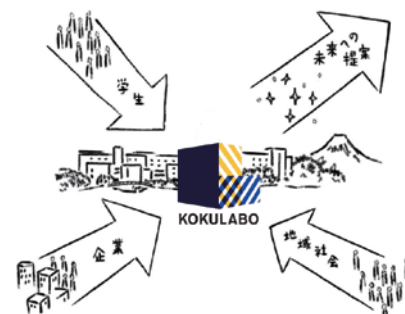
KOKULABO フューチャーセンターとは？

学生の柔軟かつゼロベース思考で、本質的な問題に切り込みます。ワークショップデザインからファシリテーションまで、学生がすべての企画運営を務める場では、上下関係に縛られない対話や参加者の主体性が生まれます。



KOKULABO とは？

静岡県立大学の国保研究室のことで、教育現場と地域社会をつなぎ、学生と地域の社会人とが交わる場所として研究室を位置づけています。ゼミ生は、経営学を学びながら、自らの問題意識をもとにしたプロジェクトに取り組みます。



FUTURE CENTER REPORT



KOKULABO TEA茶 CENTER

アジェンダオーナー
山梨栄司さん

茶畑が広がる静岡県では、様々なお茶の品種や製法、味わい方があります。このお茶の多様性をもっと多くの人に知ってもらいたいという問題意識から生まれたこのフューチャーセンターでは、お茶農家さんにお茶の楽しみ方を教えていただきながら、これからのお茶について対話を行いました。お茶の新しい楽しみ方や広め方、茶畑という観光資源の活かし方など、お茶農家さんも驚くアイデアがたくさん出ました。



森と農と人と、
が触れ合うきっかけ
を生む、農家民宿を
作りたい!

アジェンダオーナー
NPO法人 時ノ寿の森クラブ職員
松浦直矢さん

「立場や年代関係なく、多様な人々が集まり、協力し合うプラットフォーム」となる農家民宿とは?をテーマに、掛川市のリノベーション中の農家民宿でフューチャーセンターを開催しました。約600個もの農家民宿に関するアイデアが生まれただけでなく、環境に対する問題意識や、新しいスタイルの民宿を応援したいという想いも芽生えました。

過去に取り扱ったアジェンダ

わ!わ!輪!〜活動の輪を広げよう〜/シュミレーションゲームを作ろう!〜地域の未来編〜/もしドラ!〜もしも、ドライブ好きがこうじて車屋さんになったら〜/エステ革命2018〜これからのエステを考える〜/遊びの不平等をなくせ!〜遊びをアップデートせよ。〜/始動!新・地域プラットフォーム創造計画/クラフトピアを静岡に広めたい!/ボードゲームを通して作る子どもの居場所/【共催】静岡市フューチャーセンター「これからの公共交通のあり方は?」...など

KOKULABO PROJECT 2018

実践プロジェクト / 研究プロジェクト

プロジェクトとは?

組織マネジメントを専門とする国保ゼミでは、3年次に自らの問題意識をもとに実践プロジェクトを立ち上げ、学内外の人を巻き込みながら活動することでリーダーシップや組織行動を学びます。4年次には、理論やデータを用いた卒業研究プロジェクトに取り組みます。また、学外からプロジェクトを依頼されることもあります。

「まちづくりコンテスト 茨城ステージ」(鈴木綾花・水野真由)

大学生観光まちづくりコンテストの茨城ステージに出場しました。都道府県魅力度ランキング最下位脱出のためのプラン立案のため、現地に何度も足を運び、そこで感じた「懐かしさ」を軸としたアイデアを提案し、茨城県奨励賞を受賞しました。

「原一店逸品プロジェクト」(望月花帆・松永夏実 他10名)

沼津市・原の逸品マップの提案をしました。何度もフィールドワークに出向き、店主の方や地元の方の声を聴いたり、逸品を頂いたりしました。実際に足を運んで感じたことを大切に、学生目線の率直な意見を発表しました。

「草薙安全マッププロジェクト」(小池祥太)

草薙をより安心、安全なまちにするための一歩として、オリジナルの草薙安全マップを作成しました。様々な方と繋がるきっかけにもなり、多くの学びを得ることができたプロジェクトになりました。

「間違いや失敗を恐れずにいられるためには」(村松美里)

間違いや失敗の恐さの要因には主体性、やり抜く力、自己肯定感が関係していることがヒアリングから分かりました。そこから間違いや失敗を恐れずにいられるために今できることを提言し、自分の苦手意識と向き合いました。

「まちづくり活動における主体的な次世代の担い手育成に関する示唆」(小野航汰)

これまで多くのまちづくり活動に関わらせていただいた経験を通して実感した「主体的な次世代を担う人材不足」を解決するためのインタビューによる調査研究を行いました。まちづくり活動における持続可能性を高める示唆を得ることができました。

「高校生の地域愛着についての再検討」(大石遥輝)

自分のこれまでの経験から、「静岡市内の高校に通う高校生の地域愛着」をテーマに、調査・分析を行いました。研究を通して高校生の地域愛着の形成過程や進学・就職等との関係性について明らかにしました。

MEMBER:

8期生 大石遥輝 小野航汰 澤田祐希 柴崎一樹 建入智望 松永夏実 望月花帆 山田拓歩
9期生 石井春奈 小池祥太 鈴木綾花 水野真由 村松美里 森あおい 諸星桃夏
10期生 小野義虎 田中真愛 中村文哉 丸山いづみ 丸山将央 山本さくら



フューチャーセンター参加など詳しくはこちらまで



HP <https://kokulabo.com/>

Facebook Kokulabo

Instagram kokulabo